

史跡甲府城跡保存活用計画（案）

令和2年（2021）〇月

山 梨 県

【目次】

第1章 本計画策定の沿革と目的	1頁
第1節 計画策定の沿革	
第2節 計画の目的	
第3節 委員会の設置・経緯	
1. 史跡甲府城跡保存活用計画検討委員会の設置	
2. 委員会開催経過	
3. 市民意見公募（パブリックコメント）の実施	
第4節 計画の対象範囲と期間	
1. 計画の対象範囲	
2. 計画期間	
第5節 他の計画及び法令	
1. 計画の位置づけ	
2. 他の計画	
(1) 上位計画	
(2) 山梨県文化財保存活用大綱	
(3) 関連個別計画	
(4) 甲府城跡を対象とした計画等	
3. 関係法令	
(1) 文化財保護法	
(2) 都市公園法	
(3) 都市計画法	
(4) 景観法	
(5) 山梨県文化財保護条例	
(6) 甲府市風致地区条例	
(7) 山梨県風致地区条例	
第6節 計画の実施	
第2章 甲府城跡の概要	32頁
第1節 指定に至る経緯	
第2節 指定の状況	
1. 指定告示	
2. 指定説明文とその範囲	
3. 指定地の状況	
(1) 土地所有状況	
(2) 管理団体の指定	
第3節 甲府城跡周辺の環境	
1. 社会的環境	
(1) 位置と交通	
(2) 史跡指定地および周辺の土地利用状況	
(3) 観光	
(4) 周辺の関連施設	
2. 自然的環境	
(1) 地形	
(2) 地質	

- (3) 気候
- 3. 歴史的環境
 - (1) 甲府城の歴史
 - (2) 甲府城の構造
- 第4節 史跡の発掘調査と整備状況
 - 1. 発掘調査
 - (1) 天守台
 - (2) 本丸
 - (3) 天守曲輪
 - (4) 帯曲輪
 - (5) 人質曲輪
 - (6) 二の丸
 - (7) 稲荷曲輪
 - (8) 数寄屋曲輪
 - (9) 鍛冶曲輪
 - (10) 清水曲輪
 - (11) 屋形曲輪
 - (12) 楽屋曲輪
 - (13) 花畑
 - (14) 内堀
 - (15) 愛宕山石切場
 - (16) 甲府城下町
 - 2. 整備・維持管理
 - (1) 第一期
 - (2) 第二期
 - (3) 第三期

第3章 史跡甲府城跡の本質的価値・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 140頁

- 第1節 本質的価値の明示
 - 1. 本質的価値
 - (1) 東日本における初期段階の織豊系城郭
 - (2) 近世日本の政治・軍事の歴史を知るうえで重要な甲斐の拠点城郭
 - 2. 近代以降に形成された価値
 - (1) 甲府市街地中心に位置する城跡
 - (2) 調査研究に基づく整備事業による価値の保全と顕在化
- 第2節 地区区分の設定
- 第3節 構成要素の特定
 - 1. 甲府城跡の価値を構成する要素
 - (1) 史跡を構成する諸要素(史跡指定地内)
 - (2) 史跡周辺における諸要素(史跡指定地外)
 - (3) 甲府城跡周辺の関連要素(史跡指定地外)

第4章 現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 172頁

- 第1節 保存・管理の現状と課題
 - 1. 史跡指定地全体の現状と課題
 - 2. 地区ごとの現状と課題
 - (1) 本丸地区

- (2) 二の丸地区
- (3) 稻荷曲輪・数寄屋曲輪地区
- (4) 鍛冶曲輪地区
- (5) 堀地区（指定地内）水堀エリア・埋没堀エリア
- (6) 石切場地区（指定地内）
- (7) 堀地区（指定地外）・曲輪地区（指定地外）・城下町地区

第2節 活用の現状と課題

- 1. 指定地全体（共通）の現状と課題
- 2. 活用の種類ごとの現状と課題
 - (1) 現状
 - (2) 課題

第3節 整備の現状と課題

- 1. 指定地全体（共通）の整備の現状と課題
- 2. 地区ごとの現状と課題
 - (1) 本丸地区
 - (2) 二の丸地区
 - (3) 稻荷曲輪・数寄屋曲輪地区
 - (4) 鍛冶曲輪地区
 - (5) 堀地区（指定地内）
 - (6) 石切場地区（指定地内）
 - (7) 堀地区（指定地外）・曲輪地区（指定地外）・城下町地区

第4節 運営・体制の現状と課題

- 1. 所管に関する現状と課題
 - (1) 現状
 - (2) 課題
- 2. 保存・管理における運営・体制の現状と課題
- 3. 活用における運営・体制の現状と課題
- 4. 整備における運営・体制の現状と課題

第5章 大綱と基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 217頁

第1節 大綱

第2節 基本方針

- 1. 保存・管理の基本方針
- 2. 活用の基本方針
- 3. 整備の基本方針
- 4. 運営・体制の基本方針

第6章 保存・管理の方向性と方法・・・・・・・・・・・・・・・・ 219頁

第1節 保存・管理の方向性

- 1. 全体的な方法

第2節 保存・管理の方法

- 1. 史跡指定地内
- 2. 史跡指定地外

第3節 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為の取扱い方針及び取扱い基準

- 1. 制度の概要
- 2. 法令上の基準
 - (1) 現状変更を許可できない場合

- (2) 現状変更等の許可が不要な行為
- 3. 甲府城跡における現状変更等の取扱いの基本方針
- 4. 現状変更等の取扱い基準
 - (1) 現状変更等の許可が不要な行為
 - (2) 甲府市教育委員会による許可が必要な行為
 - (3) 文化庁長官の許可が必要な行為
- 5. 史跡指定地外の区域の保存
 - (1) 堀地区・曲輪地区
 - (2) 城下町地区
 - (3) 甲府城関連以外の遺跡について
- 第4節 追加指定と公有地化について
 - 1. 追加指定
 - 2. 公有地化

第7章 活用の方向性と方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 237頁

- 第1節 活用の方向性
- 第2節 活用の方法
 - 1. 史跡の本質的価値を伝えるための調査研究とその公開
 - 2. 周辺文化財等との交流
 - 3. 学校教育との連携による活用
 - 4. 社会教育と野連携による活用
 - 5. 地域における活用
 - 6. 観光資源としての活用
 - 7. 都市公園・歴史公園としての活用
 - 8. 多様な来場者の実態調査と対応

第8章 整備の方向性と方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 240頁

- 第1節 整備の方向性
- 第2節 整備の方法
 - 1. 保存のための整備の方法
 - 2. 活用のための整備の方法
- 第3節 地区ごとの整備の概要

第9章 運営・体制の方向性と方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 245頁

- 第1節 運営・体制の方向性
- 第2節 運営・体制の方法
 - 1. 管理者・管理団体
 - 2. 日常的な維持管理、保存と活用に関する運営・体制の整備
 - 3. 指導・助言組織、行政オブザーバー等による指導・助言
 - 4. 整備事業に関する運営・体制の整備

第10章 施策の実施計画の策定・実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 247頁

- 第1節 実施すべき施策とそれに掛かる期間
 - 1. 短期的に実施すべき施策
 - 2. 中長期的に実施すべき施策
 - 3. 堀及び愛宕山石切場の復元整備とガイダンス施設等の検討について

第11章 経過観察	251頁
第1節 方向性	
第2節 方法	
1. 内部検証	
2. 評価	
3. 経過観察後の問題の解決	
・経過観察チェックシート	